

第6学年2組 社会科学習指導案

6年2組教室 指導者 織部 清孝

1 単元名 提案！みんなが楽しめる公園 ―願いをかなえる政治―

2 単元の目標

- (1) 伊藤1号公園ができるまでの歩みの調べを通して、公方公共団体の働きに関心をもち、公園の成り立ちや公園計画について進んで調べようとする。 【関心・意欲・態度】
- (2) 地方公共団体の働きについて、調べたことを生かして、みんなで楽しめる公園案を提案する。 【思考・判断・表現】
- (3) 公園の成り立ちや公園計画について、フィールドワークやインタビュー、各種資料の読み取りを通して、必要な情報を集め、まとめることができる。 【資料活用】
- (4) 地方公共団体や国の政治の基本的な考え方や仕組みを理解し、市民の願いを実現するために政治が大切な働きをしていることを理解する。 【知識・理解】

3 単元の構想

本学級の児童は、友達同士のつながりが深く、話し合い活動に積極的に取り組むことができる。1学期に行った「貴族のくらし」や「武士の世の中」では、写真資料や地図をもとにしながら、当時の人々のくらしや時代背景を話し合うことができた。またグループで話し合ったことをまとめ、クラス全体に伝える姿もみられた。今後は、調べて得た情報や事実の背景にある理由や意味を考え、自分の考えを周りに発信するだけでなく、周りの意見や考えを聞きながら、自分の考えを深めていけるようになってほしいと願う。

そこで、本単元では、まず「伊藤1号公園」を取り上げる。伊藤1号公園は鶴城小学校のすぐ横にあり、市内で初めて住民提案型の公園として建てられた公園である。本学級の児童が1年生に入学するころに完成を迎え、鶴小生の遊び場になっており、子どもたちになじみの深い公園である。伊藤1号公園ができるまでのあゆみを調べることで、予算や税金、市民のニーズなど市民の願いが実現する政治のしくみを学ぶことができる。次に、西尾市が建設予定の「みんなで楽しめる公園」を取り上げる。学んだ予算や税金、市民のニーズの視点を生かして新しい公園を提案することで、市民にとってよりよい公園にしようとする思いをもつことができると考える。

まず、導入として、どんな公共施設が身近にあるか、鶴小校区内にある公共施設を地図に書き込み、公園の数が多くことに気づかせる。児童は、公園が多い理由を考える中で、市民の要望や自分の理想とした公園がないこと、場所によって様々な公園があることから、公園の成り立ちに興味をもつだろう。そこで深化では、伊藤1号公園がどのようにして建てられたか、完成までのあゆみを追究させる。本や映像資料、公園づくりに携わった人へのインタビューなどから児童は公園が建てられた経緯を知り、市民の願いや市役所の働き、税金、周辺環境などに即して公園がつくられていることに気づくだろう。また、市役所を見学することで、市役所がどのように市民の願いを取り入れながら、公園を決定しているかとらえさせる。そして活用として、西尾市が現在計画している「みんなで楽しめる公園」を取り上げ、クラスで提案する場を設定する。深化の段階で学んだことや、フィールドワークで得た情報や資料、他の公園を参考にしながら、みんなで楽しめる公園を提案し、クラスでよりよい公園案を作り上げていきたい。その際、友達のいろいろな提案を聞き、話し合うことで、自分の考えをさらに深めていけるようにしていきたい。

4 指導計画（15時間完了、本時15／15）

鶴小校区にある公共施設は何かな。

鶴小校区にはどんな公共施設があるかな②

○鶴小校区にある公共施設を見つけよう。①

- ・学校がたくさんあるね。
- ・でも地図だと公園が一番多いよ。

○現実の公園と理想の公園像を比べてみよう。①

- ・公園はたくさんあるけど、理想とする公園はあまりないなあ。
- ・もっと楽しめる公園がいいな。
- ・お客さんが来てもっといろいろ楽しめる公園がいい。

なぜ理想とする公園が近くにないのだろう。

伊藤1号公園の成り立ちを調べよう。④

○伊藤1号公園に行ってみよう。①

- ・市役所の人に聞かないとわからないみたいだね。

○伊藤1号公園を作った人の話を聞いてみよう②

- ・土地の範囲が決められていたんだね。
- ・伊藤公園は市民の要望と市民の案でつくられた公園なんだ。
- ・市民のニーズと土地にあった公園づくりが大切だね。
- ・市役所でもっと話を聞きたいな。
- ・どのように提案が決定されていったのかな。

○公園づくりに必要なことはどんなことだろう。□

- ・市民のニーズや土地、税金や予算、安全面などを考えていかなければならないんだね。
- ・最近つくられた公園はないかな。

公園は市民の願いから市役所が計画案を検討し、市議会でみんなの税金を使うか決定されるんだね。最近建設予定の公園はあるかな。

みんなで楽しめる公園を提案しよう。⑨

○理想の公園案を見直し、計画を立てる①

- ・どんな公園にするかは、様々な人の意見を聞かないとわからないな。アンケートを実施しようかな。
- ・いろいろな人にインタビューしてみようかな。

○まちの人や家族などいろいろな人に意見をきいてみよう②

- ・おじいちゃんたちはバリアフリーがあってほしいと言っている。
- ・親は駐車場や道路が混まない対策がほしいと言っている。

○建設予定地から計画案を見直そう①

- ・道の駅が近くにあって、緑も多いね。
- ・八ツ面山が近くにあるね。

○「みんなで楽しめる公園」の計画案を考えよう。③

- ・刈谷のハイウェイオアシスには観覧車がある。道の駅をうまくいかせるのがいいなあ。

○6の2のベスト公園案を提案しよう②（本時14／15）

- ・各提案を検討し合い、ゲストティーチャー（公園緑地課）に講評していただく。

<教師支援>

- ・公園に興味を抱かせるために校区内の公共施設の分布を地図におとし、公園が多いことを気づかせる。

- ・理想の公園が近くにあると感じている児童には、「どの公園も同じ公園ばかりなのかな。」と問いかけ、理想の公園ばかりでないことを示すようにする。

- ・子どもたちが身近で調べやすいように、学校の隣にある伊藤1号公園を取り上げる。

- ・調べ学習をしやすくするために、自作の学習プリントを準備・配付する。

- ・伊藤1号公園ができるまでのあゆみをおさえるため、TVで放映された部分を録画したDVDを鑑賞する。

- ・調べ学習で出た疑問や公園から市役所へとつなげていけるように、ふれあいセンターの職員の方と打ち合わせをする。

- ・子どもたちが実際に中学校区内で建設予定のある公園を取り上げる。その際に非現実的な案にならないよう、予算と予定地の広さを子どもに示すようにする。

- ・市民の意見が実際に取り入れることができるか考えさせるために、予定地の写真や地図を準備する。

- ・具体的な提案になるように他の市の公園を取り上げる。その際、比較がしやすいように予算や土地、市民のニーズに注目して取り上げるようにする。

導入

深化

活用

5 本時について

(1) 目標

- ・予算やニーズなど公園づくりに欠かせない視点を根拠にしながら、よりよい公園案についての考えを深める。

(2) 過程

ふ	子どもの活動	教師支援・評価
つかむ 5分	1 それぞれグループで出された提案を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの提案がわかりやすいように、一覧表を用意する。
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">6の2ベスト公園案を決めよう。</div>		
ふ か め る 35分	<p>2 それぞれの提案について、話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; width: 45%;"> <p><テーマパーク案></p> <p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西尾市オリジナル ・人が多く集まる <p>デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算がかかる ・ニーズが不十分。 </div> <div style="background-color: #c8e6c9; padding: 5px; width: 45%;"> <p><アスレチック案></p> <p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りの環境に合う ・予算内で作れる ・ニーズが高い <p>デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・似た公園多い。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: #c8e6c9; padding: 5px; width: 45%;"> <p><自然遊具公園案></p> <p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズが高い ・周りの環境に合う <p>デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケガがある ・スペースないかも </div> <div style="background-color: #bbdefb; padding: 5px; width: 45%;"> <p><スポーツ公園案></p> <p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆったりできる ・年齢に関係ない <p>デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古川公園あり ・ボールを使えない </div> </div> <p>3 公園緑地課の方に講評をいただく。</p> <p>4 公園緑地課の方のお話をもとに、ベストな公園案を選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめは、西尾市のオリジナルな公園を目指したかったけど、市民のニーズも少ないと感じるので、予算を改めて考えたアスレチック案がよいと思う。 ・やはり、市民のニーズが多く、周りの土地との関係から、自然と親しめる公園がいいと思った。予算もクリアできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の意見をあらかじめ予測するために、前時に意見を書かせ、座席表にしたものを活用する。 ・提案に対して、反対の意見がある場合には、説得力をもたせるために、合わせて根拠となる資料を提示したり、代案を示したりするようにする。 ・1つの提案に意見が集中したり、提案の中の1つの事柄を巡って意見が対立したりした場合は、メリットやデメリットを考えるよう促し、提案に対してのよさや改善点を明らかにしていくようにする。 ・児童に市民のニーズや予算、土地の広さ、周囲の環境の視点から提案を考え直すために、公園緑地課の方にそれぞれの提案に対する話し合いの講評をしていただくようにする。 ・視点をもとに、以前の自分の意見と、話し合い出た意見を比べて考えを書けるようにするため、ワークシートを配布する。 ・意見や理由が変化した児童の考えを伝えることができるよう、座席表を活用し、指名順を工夫する。
まとめる 5分	4 本時の振り返りを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の話し合いを受けて、他の児童の意見を聞いて考えが深まった点などをワークシートに書かせる。